



東日本大震災から14年

2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災から14年が経ちました。この震災により死者19,775名(震災関連死含む)、行方不明者2,550名(復興庁HPより)にのぼり、福島第一原発事故による帰還困難区域が残っているなど完全に復興しているとは言えません。

また、先月26日には岩手県大船渡市で山林火災が発生し、亡くなられた方へのご冥福をお祈りしますとともに被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

東日本大震災以降も様々な災害に見舞われ、2024年には1月に「能登半島地震」発生、8月に「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど災害がいつどこで発生してもおかしくない状況です。

これまでの災害によって私たちにできることは「備え」「支え合い」「未来へ伝えていく」ことではないでしょうか。

今後予想される災害に対して減災に向けて備えていき、災害が発生した際はお互いが助け合い支え合い、過去の災害を未来へ伝えていき、次の災害に備えていくということが大切です。

そして、「今、ここで災害が起こった時にどう行動すれば良いのか」ということも想定しながら日々の生活や業務の中で改めて考える機会としていきましょう。

これまでの災害を教訓に「防災」「減災」「命を守る」

これらを一人ひとりが考えて実践していこう！！

